

生徒会通信 第8号

ラグビー部 ジャパンツアー初日 歴史的初勝利！！

第25回ビーチラグビー中部『若狭高浜』大会が7月9・10日に若狭和田ビーチで行われた。昨年度とは違い、76チームが参加する大きな大会である。



ビーチラグビー常連チームに創部3年目の城北つばさ RFC がどこまで戦えるか、「ジャイアントキリング」を目標にかかげ当日を迎えた。

メンバーは以下の通りである。

| | | | |
|--------|----|-------|------------------------------------|
| 4M | 24 | 長岡 侑弥 | 変幻自在のステップで相手を置き去りにする |
| 4M | 11 | 藤本 雄志 | ポーカーフェイスが、チームを勝利へと導く |
| 4M | 7 | 加藤 駿弥 | ラグビー部キャプテン、強豪クラブでの経験をいかす |
| 4M | 2 | 竹内 廉 | スピードにのったATがDFを止める |
| 4M | 14 | 渡邊 蒼真 | ひと回り大きくなった身体がビーチで躍動する |
| 4M | 3 | 亀山 長晃 | 誰も追いつけない城北のスピードスター |
| 2M | 73 | 川越 海翔 | ライン際の魔術師、出るか独走トライ |
| 2M | 88 | 佐藤 舞夢 | 誰も予想できない動きでDFを錯乱する |
| 2M | 99 | 徳永 悠斗 | 得意のフロントパスでピックプレーを狙う |
| 1M | 12 | 藏座 静哉 | チーム1のしっかり者、的確なアドバイスが勝敗を決める |
| 長野 悦典 | | | 独自のセンス、写真撮影において右に出る者はいない |
| 大竹 百恵 | | | 勝利の女神がジャイアントキリングを実現させる |
| 中村 昇太郎 | | | 勝利への執念はチーム1、消えるアングルでトライを量産 |
| 田舎片 一司 | | | 負けず嫌いの気持ちに身体が悲鳴をあげる、すべては城北ラグビーのために |



【4M長岡】

ジャパンツアー中部大会は、初日に予選リーグ4試合、2日目に決勝トーナメントと夜間定時制部員にはかなりハードなスケジュールだ。日頃、夜間練習のため2日間で5試合越えは未知の領域であり、熱中症との戦いも待っていた。

組み合わせ結果【Lリーグ】になった本校は、初戦『NGL』（福井県）との対戦となった。このリーグのシードであるチームに序盤から攻め込まれた。4M藤本の懸命なDFもかわされ、初戦の緊張感もあり終わってみれば顧問(田舎片)のインターセプトのトライのみで終わる。

第二試合は、コーチ(中村)の母校OBチーム『厚司クラブ』（愛知県）。4M渡邊のインターセプトなどがあつたが、相手は全員が大学ラグビー経験者であり、判断の差を痛感する敗戦であった。



【4M加藤】



【4M渡邊】

経験値の浅い本校は、試合ごとの成長していた。昨年は参加できなかった4M亀山がスピードにのってDFをかわす、2M佐藤は懸命にサポートプレーに走る。試合終了の笛が鳴った時、抱き合っていたのは『城北つばさ』だった。7-0の完封勝ち。部を【ゼロ】から立ち上げた顧問(田舎片)は雨？が流れ落ちないように懸命に上を見てしまった。



【4M竹内】

ビーチに慣れてきた第三試合。対戦相手は、岐阜の強豪高校『スロファールUI』（岐阜県）、緊張が取れたのか勢いのあるアタックの連続からコーチ(中村)→4M竹内へつながらトライ。ボーナスポイントでは、4M長岡の華麗なラントライを見せた。さらに、キャプテン加藤からのナイスパスをコーチ(中村)がキャッチ後トライ。その後『スロファールUI』のトライもあり一進一退が続いた。ラスト1分、一瞬のスキを突かれ決勝トライを許し、初勝利を逃す。

雨天の中、予選リーグ最終戦は、関西の名門『極悪ポパイ井』（大阪府）。すべての試合で二桁得点勝利の勢いのあるチームである。ビーチの誰もが勝敗は決まっていると確信していた。しかし、

上位チームに初勝利をあげた本校は、決勝トーナメントの【シード権】を得た。その代償に、何人かの部員が熱中症で大きなダメージを受けた。この状況の中、初日のMVPは1M藏座。メンバーが試合にスムーズに入るためにサポートし、急な豪雨時は荷物を移動し、臨機応変のスペシャリストだ。

夜は、英気を養うためにBBQ！！2M川越・2M徳永も美味しい海鮮・肉を腹いっぱい食べ明日に備えた。



【コーチ中村先生】



【4M亀山】

粋な計らいと考え、実費で肉を追加した。6人前！！
良かれと思ったのだが、、、、、、
4M渡邊、トイレにこもっていた。
すまん。

2日目、悔いのない試合を期待する。



【チームトーク】

(文責：田舎片)